

家畜衛生情報

夏の間には鶏舎の再点検を！

～高病原性鳥インフルエンザのハイリスクシーズンに備えて～

高病原性鳥インフルエンザは、2022-2023年シーズンにおいては、これまでで最も早い10月28日に国内家畜農場での発生が確認され、それ以降26道県で84事例の発生があり、約1771万羽を殺処分する事態となりました。

高病原性鳥インフルエンザウイルスは、日本で越冬する渡り鳥による持ち込みが主な侵入経路と考えられており、飼養衛生管理の強化と徹底により、野鳥、野生動物、人、物を介してウイルスを持ち込ませないことが最も重要です。

発生リスクの低い夏の間には、鶏舎や農場全体を再点検し、鶏舎や防鳥ネットの破損箇所の修繕のほか、衛生管理区域の確認、適切な消毒の徹底など、ウイルス侵入防止対策を進めましょう。



農水省HPより

最近のセンサーカメラによる調査で、カラスなどの野鳥以外にも、ノウサギ、ニホンジカ、タヌキなど様々な野生動物が農場や鶏舎内に侵入することが確認されています。

チェックシートを参考に、来シーズンに向けて
鶏舎の再点検をお願いします。
異状があれば、直ちに家畜保健衛生所に連絡を！

岐阜県中央家畜保健衛生所

電話番号：058-201-0530

時間外・夜間・休日は090-7024-5269



消毒や清掃の徹底

- 衛生管理区域の入口付近に消毒装置を設置し、立ち入る者に対する手指消毒や車両の消毒をさせていますか。
 車両消毒設備：ゲート式、プール式、動力噴霧器、蓄圧式噴霧器
 消石灰帯
- 衛生管理区域に車両を入れる者に対し、当該農場専用のフロアマットや、降車時にブーツカバーを使用するなど、車内における交差汚染を防止するための措置を講じていますか。
- 家きん舎の入口付近に消毒装置を設置し、出入する際に手指の洗浄、消毒をさせていますか。
- 家きん舎ごとの専用の靴を設置し、家きん舎に入る者に対し、これらを確実に着用させていますか。
- 家きん舎など衛生管理区域にある施設や、飼養管理に使用する器具について、定期的に清掃又は消毒を行っていますか。

野生動物の侵入防止対策の徹底

- 野鳥等の野生動物の家きん舎、飼料保管庫、堆肥舎、死体保管庫等への侵入を防止することができる防鳥ネット等の設備を設置していますか。
 - ・ 家きん舎
 - 壁・窓の破損ありませんか
 - ネット・金網の網目は適切ですか。
 - ネット・金網の破損はありませんか。
 - ・ 飼料の保管場所
 - ・ 排せつ物保管場所
 - ・ 死体の保管場所
 - ・ 資材の保管場所



鶏舎内で鶏卵をくわえている野生動物

農水省HPより

- ねずみ、タヌキ、猫などが侵入しそうなルートを確認し、対策を講じていますか。

※開放鶏舎のみならずウインドウレス鶏舎のように一見隙間がないように思われる鶏舎であっても、飼養衛生管理者と鶏舎構造を熟知している者等が連携し、カラスなどの野鳥やねずみやタヌキなどの野生動物が侵入しそうなルートがないか確認して対策を講じてください。また、エサこぼれや野生動物が好む果樹など、誘引物となりそうな要因は取り除きましょう。